



2年学年だより

発行日:令和7年3月25日(火)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:星野 浩 NO.11



MINAMI

学年末を迎えて

校長代理 中澤 務

3月19日に附属中学校第11回卒業式が行われました。卒業式では私から卒業生一人ひとりに卒業証書をお渡ししました。星野校長から式辞として、卒業生にメッセージが送られました。その内容を要約してお伝えします。

みなさん、目を閉じて中学校で過ごした日々を、思い返してみてください。きっと、様々な出来事や言葉や風景や、その時感じた気持ちが、まるでスライドがパタパタとするように思い起こされているのではないのでしょうか。クラスメートと初めて言葉を交わした時のこと、部活動、生徒会や委員会活動、行事でのこと、他愛もない登下校や廊下での会話、決して順風満帆な日々だけではなく、共に意見を交わしあい、ぶつかったことも、気まずい思いを抱いた日々もあったでしょう。あなたの心、感情が、大きく喜怒哀楽として動いたからこそ、スライド一枚一枚のように記憶として残っているのです。

悔しいこと、残念だったことに限って、鮮明に残っていることがあります。忘れたと思うほど、尚更記憶に残ります。しかしそうであるなら、新しいスライドを一枚一枚と重ねていくことも大切です。目を開け、前を見ていきましょう。あなたの前にある未来に目を向けましょう。世の中では今、様々なことが起きています。良いニュースもありますが、そうではないニュースもたくさんあります。簡単に解決できないことはどうしていったら良いのか…。しかし、考える上で根底にしなければならないキーワードがあります。それは『持続可能な社会に貢献する』という考え方です。人々の生活や幸福、地球の自然や生態系が好ましい形で持続していくことができるように、社会に貢献できることは何かを、思考の軸に置いていくことです。人権、平和、社会福祉、争い、経済問題、食糧危機、環境の保全など、単純に解決できないことばかりです。しかし、このままで良いと思ってしまったら、それは全てが後退していくことと一緒にです。「自分」のことだけでなく「自分たち」のことを考える、「自分たち」だけでなく「他の人達」のことも考える、「そこにいる人達」だけでなく、「そこにいない人達」のことも考える、広い視野を持ち、改善していこうとする心構えを持つことが大切なことです。

ある日、ふと流れていた歌が、心にスッと入ってきました。『世界の共通言語は、「英語」じゃなくて「笑顔」だと思う』という一節です。英語は、非常に便利なツールですが、もっと根源的な『笑顔』の持つ意味。グローバルな社会に貢献できる人材の尺度はここだと改めて思いました。卒業生のみなさんは、これからの世界を作っていく中心になる望みを持ち、『自分にも必ず何かができる』という心意気で歩んでいってほしいと思います。

今の大切な友達と、そしてまだ出会っていない様々な人達と作る、笑顔あふれる世界を作り上げていってください。

附属中学校の皆さんは普段から各教科や総合的な学習の時間”EGG”などで、社会全体や地球規模の問題についてよく考えています。皆さんには広い視野から人を大切に思い、まだ出会っていない人の思いまで想像し、異なる文化や背景、価値観をもつ人と力を合わせることができる人になってほしいと思います。

南高70周年南高附属中10周年メモリアルイヤーであった、この1年の成果を振り返り、進級した学年でも一層仲間を大切にしながら充実した学校生活を送ってください。

1年間のクラスを振り返って

今日で2年生も終了です。4月8日から過ごしてきた1年間で、学級委員に振り返ってもらいました。
「この1年間で感じたクラスの成長」や「この1年間でのクラスにとって大きな出来事は…」

1組 学級委員

前期よりもしっかりと時計を見て行動する人が増えたと感じます。電車の遅延や45分授業の時などの特別な時間割でも一人ひとりが意識して移動をしていました。

体育祭や南高祭などのイベントでは、委員やリーダーが中心となって盛り上げようとしていました。また、クラスのみんなでその人たちを支えていました。そういったイベントで協力することによって、よりクラスの絆が深まったように感じます。前期で目標に掲げたように、一人ひとりがたくさん意見を出していくということも達成できました。国語の『走れメロス』の話し合いでは、多くの人が意見を出し、意見が異なる発言に対してたくさん質問していました。遠慮することなく自分の意見を言うことで、深い話し合いができました。

そんな1組にとっての大きな出来事は、展示の部での“OGAWA QUEST”の開催です。一大イベントに出す出し物の制作を通してより完璧を求めて、クラス内の絆が深まりました。また、体育祭での学年種目・四人五脚では、はじめはあまり強くなく、速いクラスとの差が一分以上と絶望的でした。しかし、よりよい作戦の話し合いと練習を重ねました。本番では3位となってしまいましたが、みんなで達成感を分かち合いました。



2組 学級委員



2組は、「41 アイスクリーム」という、それぞれの個性を大事にしよう、というクラス目標を掲げてきました。最初は、良い意味でうるさく、それぞれの個性が発揮されたクラスでしたが、クラス全体ではなく個々で盛り上がっていることの方が多かったように感じます。しかし、合唱コンクールや体育祭などのクラスで一つのもを作り上げる、という行事を通して、日を追うごとに僕たちが物足りなかったのはクラス全体が一丸となるということにクラス一人ひとりが気づき、最終的には41種類のフレーバーが乗りつつの、一つの大きなアイスクリームとなったように感じます。クラスで一つのことを創り上げることの大切さに



気付くことができた、価値あるクラスとなりました。

クラスにとって大きかったことは3月に行われた第2回南高祭体育祭の部での学年種目「爆速!なんでもリレー」で優勝したことだと思います。1年間の中でクラスが一番一つになった感じがしました。競技の前には体育祭実行委員を中心に5月の体育祭のリベンジをするぞと円陣を組みました。私はこの経験からみんなが一つの目標を目指して努力することで最高の結果が得られるということを実感しました。この何でもリレーで一段と仲が深まったと思います。

3組 学級委員

この1年間で、本当に団結力のあるクラスになったなとしみじみ感じています。行事に手を抜くこともなく、良いところはちゃんと褒め、ミスした時は「どんまい」という声かけが聞こえてきます。居心地のいいアットホームなクラスだなと、振り返ってみて思います。ただ、朝読書の時に読書せずに話したりしてしまう人がまだまだ多いのが、これからの課題です。成長したり、団結力を高めたりすることができた出来事は多くありますが、その中でも3組の思い出となっているのは体育祭だと思います。

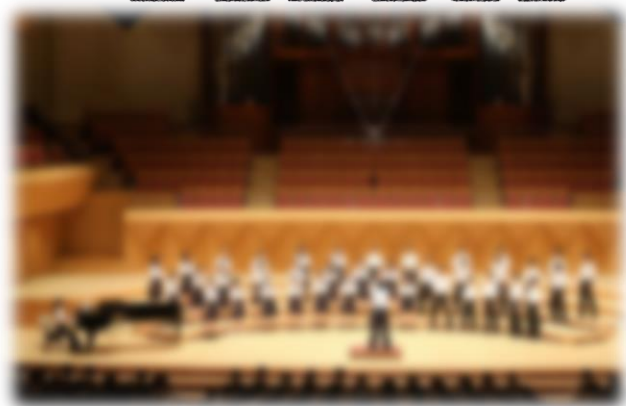
前期の体育祭では初の学校行事で緊張感もありましたが、休み時間に声を掛け合い練習して、本番でもみんなで応援合戦をしたり励まし合ったりすることで、学年種目の四人五脚で優勝することができました。これを通して、何事にも一生懸命取り組もうという意識が高まったと思います。

後期の体育祭はクラスを分けての取り組みでしたが、学年種目のなんでもリレーは、2年3組で取り組む最後の行事となりました。優勝はできなかったものの、1年間を通して培った、団結力や盛り上げ力を活かし全力で取り組むことができました。無事ゴールしたときは、やりきったという達成感で満ちていました。



4組 学級委員

4組の成長したところは、盛り上がるべきときと、そうでないときとの切り替えです。はじめの頃の4組は、盛り上がり具合は最高でしたが、人の話を聞くときにすぐ切り替えられなかったり、一分前着席もできていなかったりしていました。それでもみんなで声を掛け合いながら、行事などは全力で取り組み、やるべきときはちゃんとやる、というかたちに改善していけました。年間を通して、行事があるたびに団結力を強めていったクラスで、南高祭や合唱コンクール、百人一首大会などが大きな影響を与えた出来事だったと思います。クラス全体の仲も1年間ですごく深まったし、何より団結力がとても強くなったと思います。4組としていい成績を残せた行事がたくさんあったのも、クラス全体で団結したことが影響していると感じています。



お知らせ

令和7年度の始業式は **4月7日(月)**

- 8:40登校** @くすのき広場 →新年度クラス名簿を受け取って、5階教室に移動
- 持ち物・・・連絡票(赤ファイル)、アリーナ履き、保健関係書類、部活動のある人はお弁当
- 時程・・・着任式・始業式・入学式準備(下校目安時刻は11:35)

【EGGについて】

4月からの卒業研究に向けて、必要な資料を探しておきましょう。※参考文献は残しておきましょう。

(URLは記録しておきましょう。)

有志団体出演の学年集会!!

3/21(金)に行われた学年集会。学級委員が主催して、有志団体を募っての集会でした。「予想をはるかに超えた応募団体数」があり、どの団体も準備をして迎えた本番。学年全員を笑顔にさせるような発表を披露してくれました。のちの学年集会でも学年主任からお話をしましたが、「出演する人の勇気」も、「勇気を持たせられる学年の雰囲気」も、どちらも素敵です。3年生になっても、そんな温かな雰囲気をもった集団でいてほしいなと願っています。

